

# 財務レポート 2012

---

平成23事業年度



国立大学法人

Akita University

秋田大学

## 目次

|                |    |
|----------------|----|
| 学長あいさつ         | 1  |
| 平成23年度の主な取組    | 2  |
| 貸借対照表          | 4  |
| 損益計算書          | 5  |
| 国民・企業のみなさまへ    | 6  |
| 在学生・受験生のみなさまへ  | 7  |
| 附属病院をご利用のみなさまへ | 8  |
| 運営資金情報         | 9  |
| 貸借対照表の推移       | 10 |
| 損益計算書の推移       | 11 |
| 財務指標分析         | 12 |
| 財務指標増減の主な要因    | 13 |
| 秋田大学への寄附について   | 13 |

※本レポートは端数を切り捨て処理しているため、合計額が一致しない場合があります。

本レポートは、平成24年9月26日付けで文部科学大臣に承認されました財務諸表に基づいて作成しています。

財務諸表及び事業報告書につきましては、本学のホームページをご覧ください。

秋田大学 [トップ](#) > [大学案内](#) > [大学運営情報](#) [財務情報](#)  
[http://www.akita-u.ac.jp/honbu/publicinfo/legal/pu\\_zaimu.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/publicinfo/legal/pu_zaimu.html)

## 学長あいさつ



国立大学を運営するうえで主要な財源となる運営費交付金は、大学改革促進係数が課せられ毎年減額措置されております。このような状況において、第2期中期目標達成のため自主自立的な財政運営を目指し取り組んできたところです。

私は、平成20年4月秋田大学長に就任し、同年9月教育・研究・社会貢献・国際化・経営の5つの柱からなる「吉村プラン」を策定いたしました。本学の基本理念・基本的目標、また法人における中期目標・中期計画の実現・達成に向け進めてこられたものと思っております。また、平成23年4月から2期目の学長職を迎えておりますが、同年9月には第2期の吉村プランを策定しております。

このプランは、第1期吉村プランの達成状況、第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果及び平成23年2月に実施した外部評価の結果などを踏まえたものとなっております。さらに、未だ深い爪痕を残す東日本大震災への対応や地域防災の在り方についても意識した内容となっております。

国立大学を取り巻く状況は厳しさを増す一方ですが、秋田大学がこれまでも増して地域に根差さし、必要とされる存在であり続け、また、何を期待され、果たすべき役割は何かを問い続け、実践する視点を持ち続けたいと考えております。

今後とも秋田大学を支えて下さる皆様方からのより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

国立大学法人 秋田大学  
学長 吉村 昇

## 平成23年度の主な取組

### ◆ 地域創生センター設立

秋田大学地域創生センターは、「地域再生のための知の創生の見地から、地域と連携し、地域の活性化、教育活動、住民活動への助言や地域の防災等に関する研究と支援等を行い、地域の発展及び安全・安心な地域社会の形成に寄与する」ことを目的に平成23年4月に設立されました。

秋田大学が実施する「地域との連携・地域への貢献」活動について『地域協働部門』の活動を明確にすることで、地域の持続可能な発展について、寄与していきます。

また、平成23年9月には『地域防災部門』を開設し、地震災害について調査・研究し、地域の防災対策に取り組んでいきます。



地域創生センターの設立

### ◆ 医学部附属病院シミュレーション教育センター開設

秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センターは、秋田県内医療人の更なるスキルアップと質の高い専門医の養成に繋げ、医学シミュレーション教育が秋田県の医療再生の礎となるよう、秋田県と秋田大学の協同によって、平成24年3月に開設されました。

センターには、スキル向上のための各種シミュレーターなどを配備しているラボや研修室、画像診断能力の向上のための画像診断学習室、TV会議システムを利用できるTVセミナー室などがあり、シミュレーション教育・研修を医学・医療に積極的に取り入れ、質の高い医療人の養成を目指しています。



シミュレーション教育センター



臨床専門手技ラボ



外科研修室・外科手技ラボ



緊急処置ラボ



画像診断学習室

#### ◆附属図書館本館リニューアルオープン

秋田大学附属図書館本館は、平成22年8月から改修工事を行っていましたが、平成23年4月にリニューアルオープンし、明るく、使いやすく、多機能に利用できる学びの場として生まれ変わりました。

分散していた資料を集約することで利便性を高めるとともに多様化する学習スタイルに対応できるようコモンズ（学生の主体的な学習活動を支援する場）や個室の機能を充実させ、これまで以上に学びをサポートできる体制になりました。



附属図書館本館



1F サービスデスク



1F ラウンジ



1F コモンズ



2F 閲覧フロア

#### ◆世界に広がる学術ネットワーク

秋田大学は、世界に開かれた大学として国際交流の拡大を図っています。そのために、学生及び教職員の海外留学・派遣の促進と、多くの外国人留学生を受け入れるための環境整備に努めています。

平成23年度は、新たにカザフスタンの大学と大学間協定を結び、中国、フランスの大学と部局間協定を結びました。大学間協定は16カ国・地域36大学、部局間協定は9カ国・地域17学部等となりました。

今後も、協定校との学術交流、学生交流を推進し、積極的な国際交流を進めていきます。



吉村学長(左)とテミルベコフ東カザフスタン工科大学学長(表敬訪問の様子)

# 貸借対照表

【単位:百万円】

| 資産の部  |               | 負債の部                   |  |
|---|---------------|------------------------|--|
| 保有する固定資産の<br>残存価値                           | 土地 17,440     | 資産見返負債 8,975           |  |
|   | 建物等 20,417    | 借入金 16,910             |  |
|   | 備品等 7,285     | 運営費交付金債務 1,010         |  |
| 有形固定資産を建設<br>する際に発生した金額を<br>完成時まで一時的に計上したもの | 図書・美術品等 1,770 | 寄附金債務 1,992            |  |
|   | 建設仮勘定 4,279   | 未払金等 4,674             |  |
|   | 無形固定資産 142    | リース債務 1,241            |  |
|   | 長期性預金 300     | その他 604 ... 前受金、引当金など  |  |
| 大口定期預金<br>(満期まで1年超のもの)                      |               | 負債合計 35,408            |  |
|   | 現金・預金 4,713   | 純資産の部                  |  |
|   | 有価証券 2,400    | 資本金 20,413 ... 国からの出資額 |  |
|   | 未収入金等 3,505   | 資本剰余金 4,404            |  |
|   | 医薬品・診療材料 336  | 前中期目標期間繰越積立金 2,517     |  |
| たな卸資産、貸付金など ...                             | その他 131       | 目的積立金 19               |  |
|   | 資産合計 62,721   | 当期末処理損失 △ 42 ... 当期総損失 |  |
|   |               | 純資産合計 27,312           |  |
|   |               | 負債・純資産合計 62,721        |  |

## 建物等・建設仮勘定

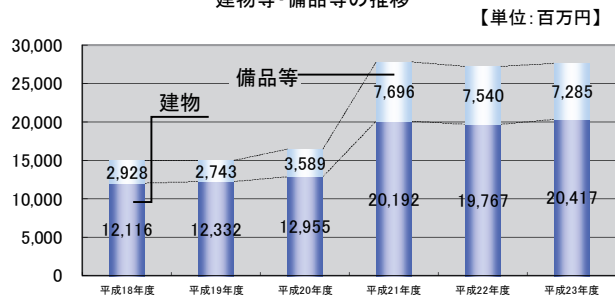
平成23年度決算では、建物に関しては、附属病院シミュレーション教育センター新築などにより1,501百万円増加しています。一方で減価償却費が1,032百万円増加しています。また、病棟改修等により建設仮勘定が2,201百万円増加しています。

## 備品等

備品が約1,364百万円増加した一方で、減価償却費が1,603百万円増加しています。

集中治療支援システム・・・266百万円  
総合情報処理センター  
電子計算機システム・・・229百万円 等

建物等・備品等の推移



## 有価証券

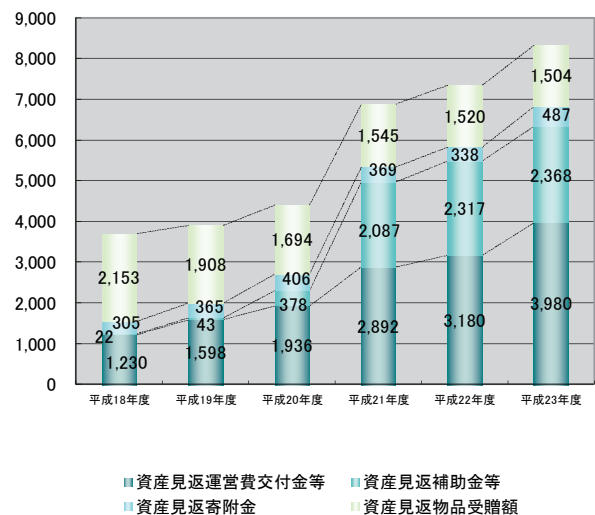
譲渡性預金を運用しているため、400百万円増加しています。

## 資産見返負債

固定資産を取得した際に計上し、減価償却をする時に、資産見返負債戻入(損益計算書)として収益化するための勘定科目です。

財源別推移

【単位:百万円】



## 借入金

病院再開発に伴い国立大学・財務経営センターから借入を行ったため、2,134百万円の増加となりました。

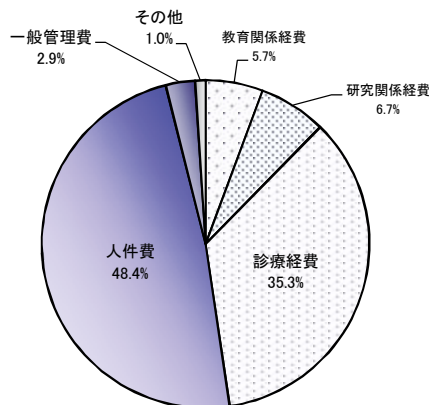
# 損益計算書

【単位:百万円】

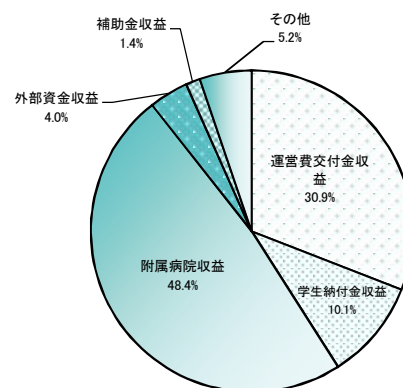
| 経常費用          |               |
|---------------|---------------|
| 教育関係経費        | 1,693         |
| 研究関係経費        | 1,981         |
| 診療経費          | 10,527        |
| 人件費           | 14,439        |
| 一般管理費         | 861           |
| その他           | 301           |
| <b>経常費用 計</b> | <b>29,805</b> |
| 臨時損失          | 155           |
| <b>当期総損失</b>  | <b>△ 42</b>   |
| <b>合計</b>     | <b>29,918</b> |

| 経常収益          |               |
|---------------|---------------|
| 運営費交付金収益      | 9,242         |
| 学生納付金収益       | 3,009         |
| 附属病院収益        | 14,453        |
| 外部資金収益        | 1,188         |
| 補助金等収益        | 430           |
| その他           | 1,558         |
| <b>経常収益 計</b> | <b>29,883</b> |
| 臨時利益          | 14            |
| 目的積立金等取崩額     | 20            |
| <b>合計</b>     | <b>29,918</b> |

経常費用



経常収益



## 教育関係経費 … 教育経費、教育研究支援経費

授業料免除枠拡大等に伴う奨学金の増加などにより、279百万円増加しています。

## 研究関係経費 … 研究経費、受託研究費等、受託事業費

特別経費採択事業や鉱業博物館模様替などにより、128百万円増加しています。

## 診療経費

病棟改修に伴う移転費など業務委託費の増加などにより、471百万円増加しています。

## 人件費

7:1看護職員体制の整備や補助金獲得などにより、568百万円増加しています。

## 一般管理費

東日本大震災対応関係や節電対策関係などにより、96百万円増加しています。

## 当期総損失

経常利益は78百万円となっているものの、会計基準の改訂に伴う臨時損失の計上により、当期総損失が42百万円となっています。

## 運営費交付金収益

病棟改修に伴う移転費等、業務達成基準の適用などにより、1,250百万円増加しています。

## 学生納付金収益 … 授業料収益、入学科収益、検定料収益

授業料を財源とした固定資産の取得の増加に伴う授業料収益の減少などにより、98百万円減少しています。

## 附属病院収益

入院診療単価の増加や外来患者数の増加などにより、257百万円増加しています。

## 外部資金収益

受託研究費等の受入の減少により、4百万円減少しています。

## 補助金等収益

設備整備費補助金の減少などにより、39百万円減少しています。

## 国民の皆様にご負担頂いているコスト

### ◎国立大学法人等業務実施コスト計算書

一事業年度における国立大学法人等の業務運営に係る国民負担額（税金等により国民が負担しているコスト）を表示し、報告するものです。

平成23事業年度における本学の業務実施コスト119億円となっています。日本人人口（約1億2,779万人）に基づき国民1人あたりに換算した負担は93円となっています。

業務実施コストに対する  
国民1人当たりの負担額 93円

=業務実施コスト(119億円)/人口(1億2,779万人)  
(人口:平成23年10月1日現在推計人口 総務省統計局)

【参考 : 昨年度 … 82円】

## 国民からの財政投入に支えられる大学

### 運営費交付金

運営費交付金とは、国立大学法人が業務運営を行う財源として、国から交付されるものをいいます。

国が算定する授業料や附属病院収入などの大学収入と、同じく国が算定する教育・研究・診療などに要する事業費との差額として措置されます。

平成23事業年度において本学に交付された運営費交付金は10,107百万円となっています。

平成23事業年度の運営費交付金 10,107百万円

### 施設費

国立大学法人の施設整備は、国から措置される施設整備費補助金と、国の配分方針に基づき国立大学財務・経営センターから措置される施設費交付金を財源に事業を行っています。

平成23事業年度の施設費は595百万円となっていますが、附属病院再開発計画等の財源として、国立大学財務・経営センターの貸付制度から2,942百万円を借入れて再開発事業を実施しています。

### 平成23事業年度

施設費 595百万円  
国立大学財務・経営センターからの借入金 2,942百万円

### 受託研究等および受託事業等

運営費交付金、施設費及び補助金以外にも国や地方公共団体及び民間の企業等から、受託研究や受託事業等として多くの資金を受入れ教育研究を行っています。

平成23事業年度の受託研究等の受入額は392百万円となっています。また、受託事業等の受入額は110百万円となっています。

【単位:百万円】

| 区分           | 金額         |
|--------------|------------|
| <b>受託研究等</b> | 392        |
| 国及び地方公共団体    | 164        |
| その他          | 227        |
| <b>受託事業等</b> | 110        |
| 国及び地方公共団体    | 99         |
| その他          | 11         |
| <b>合計</b>    | <b>503</b> |

### 科学研究費補助金等

本学の研究者や研究グループは、独創的・先駆的な教育研究を進展させるべく多くの補助金を獲得しています。

平成23事業年度は442百万円となっていますが、この資金は「預り金」として法人の収入とは区別して経理しています。また、これらの補助金に係る間接経費は117百万円となっていて、この経費は法人の収入として経理されています。

【単位:百万円】

| 区分              | 金額         |
|-----------------|------------|
| 科学研究費補助金        | 371        |
| 厚生労働科学研究費補助金    | 34         |
| 先導的産業技術創出事業費補助金 | 9          |
| 機械工業振興事業補助金     | 3          |
| 環境研究総合推進費補助金    | 13         |
| 先端研究助成基金助成金     | 11         |
| <b>小計</b>       | <b>442</b> |
| 間接経費            | 117        |
| <b>合計</b>       | <b>559</b> |



## 教育関係経費

学生の教育などに要する教育関係経費は、教育経費が7,670百万円(うち教育にかかる教職員人件費約6,353百万円)、教育研究支援経費が376百万円となっています。これらの総額約8,046百万円を学生1人当たりに換算すると約1,551千円となります。

学生1人当たりの教育関係経費 1,551千円

= 教育関係経費(8,046,937千円) ÷ 学生数(5,187人)  
【参考：昨年度・・・1,471千円】

## 教育関係経費

【単位：千円】

| 区分       | 教育経費      | 教育研究支援経費 | 計         |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 消耗品費     | 250,070   | 55,714   | 305,785   |
| 備品費      | 50,521    | 7,066    | 57,588    |
| 印刷製本費    | 61,832    | 68,698   | 130,531   |
| 光熱水料     | 158,414   | 9,953    | 168,368   |
| 旅費交通費等   | 61,648    | 14,771   | 76,420    |
| 通信・郵送料等  | 7,368     | 10,346   | 17,714    |
| 土地・建物賃借料 | 2,622     | 1,238    | 3,860     |
| 機器等借料    | 11,685    | 2,707    | 14,392    |
| 保守費      | 25,066    | 38,205   | 63,271    |
| 修繕費      | 76,251    | 51,258   | 127,509   |
| 行事費等     | 14,616    | 4,551    | 19,167    |
| 謝金等      | 49,227    | 2,711    | 51,938    |
| 業務委託費    | 25,072    | 894      | 25,966    |
| 奨学費等     | 351,878   | -        | 351,878   |
| 減価償却費    | 118,489   | 94,386   | 212,875   |
| その他      | 51,940    | 14,199   | 66,140    |
| 人件費※     | 6,353,526 | -        | 6,353,526 |
| 合計       | 7,670,233 | 376,704  | 8,046,937 |

※ 教育にかかる人件費は、歳出決算実態調(H13年)に基づき人件費合計額の44%としています。

## 学生納付金

平成23年度の入学者数

|        |      |
|--------|------|
| 教育文化学部 | 333人 |
| 医学部    | 284人 |
| 工学資源学部 | 662人 |

在学生(平成23年度5月1日時点)

|    |       |
|----|-------|
| 学部 | 4510人 |
| 修士 | 464人  |
| 博士 | 213人  |

## 学生納付金収入

【単位：千円】

| 区分  | 金額        |
|-----|-----------|
| 授業料 | 2,399,041 |
| 入学料 | 352,890   |
| 検定料 | 104,491   |
| 合計  | 2,856,423 |

## 学生納付金単価

| 区分         | 授業料     | 入学料     | 検定料    |
|------------|---------|---------|--------|
| 学部         | 535,800 | 282,000 | 17,000 |
| 大学院        | 535,800 | 282,000 | 30,000 |
| 転学、編入学、再入学 | 535,800 | 282,000 | 30,000 |

※秋田大学における授業料その他の費用に関する規程

## 入学料・授業料の免除

平成23年度における入学料及び授業料の減免額の実績は以下の通りです。

|     |           |
|-----|-----------|
| 授業料 | 322,953千円 |
| 入学料 | 12,408千円  |
| 合計  | 335,361千円 |

## 授業料減免割合

12.77%

= 授業料減免額(322,953千円) ÷ 授業料収益(2,529,421千円)  
【参考：昨年度・・・7.53%】

## 附属病院をご利用のみなさまへ

### 医学部附属病院の財務内容

医学部附属病院の収益構造は、附属病院セグメント情報に示すとおり附属病院収益が収益全体の82%を占めており、病院経営における最も重要な要素となっています。

平成23年度は、病院再開発等の影響に伴い、病床数が減ったことなどにより入院患者数が減少しておりますが、外来患者数や手術件数の増加などにより、附属病院収入は昨年度よりも増えており、附属病院収益も同様に増加しました。

費用に関しては、附属病院収益の増加に伴う医薬品費及び診療材料費の増加や病棟再開発等による業務委託費の増加など、診療経費が増加しています。

以上のように平成23年度決算においては、収益・費用ともに増加しましたが、業務損益としては約2億5千万円の利益が計上されています。

### 平成23年度の取り組み

平成22年度の厨房・中央材料部等改修に続き、平成23年度は、第一病棟西側（旧西病棟）及び集中治療部の改修が終了しました。引き続き、第一病棟東側（旧東病棟）の改修などを行っていく予定です。

また、秋田県と秋田大学の協同による地域医療再生計画の一環として、医療シミュレーション教育を目的としたシミュレーション教育センターが平成24年3月に開設されました。センター内の各種シミュレーションを用いて医療技術を習得し、秋田県内の医療人の更なるスキルアップとより質の高い医療人の育成を目指しています。

東日本大震災への対応として、平成22年度から引き続き平成23年7月までの間、主な支援先である岩手県立高田病院などに医療関係者延べ123名を派遣し、被災地への医療支援活動を行いました。

### 附属病院収入 【単位：千円】

| 区分     | 平成22年度     | 平成23年度     | 増減率   |
|--------|------------|------------|-------|
| 附属病院収入 | 14,084,575 | 14,168,414 | 0.60% |

### 患者数 【単位：人】

| 区分 | 平成22年度  | 平成23年度  | 増減率    |
|----|---------|---------|--------|
| 入院 | 186,669 | 180,715 | △3.19% |
| 外来 | 252,395 | 255,221 | 1.12%  |
| 計  | 439,064 | 435,936 | △0.71% |

### 附属病院セグメント情報 【単位：千円】

| 区分       | 金額         |
|----------|------------|
| 教育経費     | 24,605     |
| 研究経費     | 67,786     |
| 診療経費     | 10,527,051 |
| 受託研究費    | 57,024     |
| 受託事業費    | 11,654     |
| 人件費      | 6,316,616  |
| 一般管理費    | 95,132     |
| 財務費用     | 297,628    |
| 費用計      | 17,397,500 |
| 運営費交付金収益 | 2,345,544  |
| 附属病院収益   | 14,453,676 |
| 受託研究等収益  | 68,201     |
| 受託事業等収益  | 21,163     |
| 寄附金収益    | 42,236     |
| 補助金等収益   | 106,591    |
| 財務収益     | 132        |
| 雑益       | 21,309     |
| その他      | 588,760    |
| 収益計      | 17,647,616 |
| 業務損益     | 250,116    |

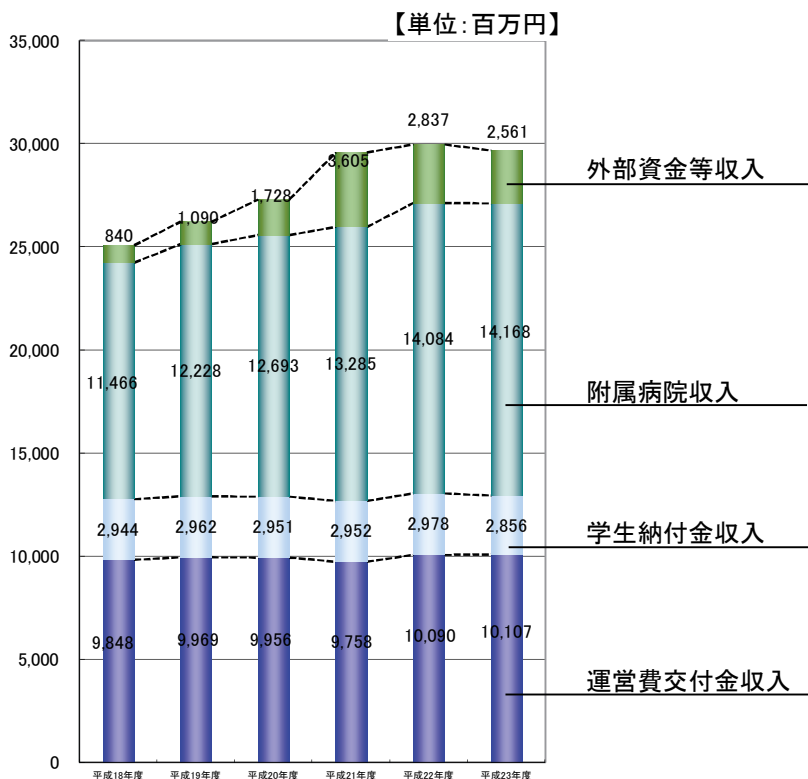
### 診療経費比率 72.83%

= 診療経費(10,527,051千円) ÷ 附属病院収益(14,453,676千円)

【参考：昨年度・・・70.83%】

## 運営資金情報

### 主な運営資金の推移



### 運営費交付金

平成16年度から『効率化係数』、平成22年度は『臨時的減額』、平成23年度は『大学改革促進係数』が措置され、運営費交付金が減額されています。(平成23年度は、東日本大震災関係の補正予算措置の分、増加しています。)

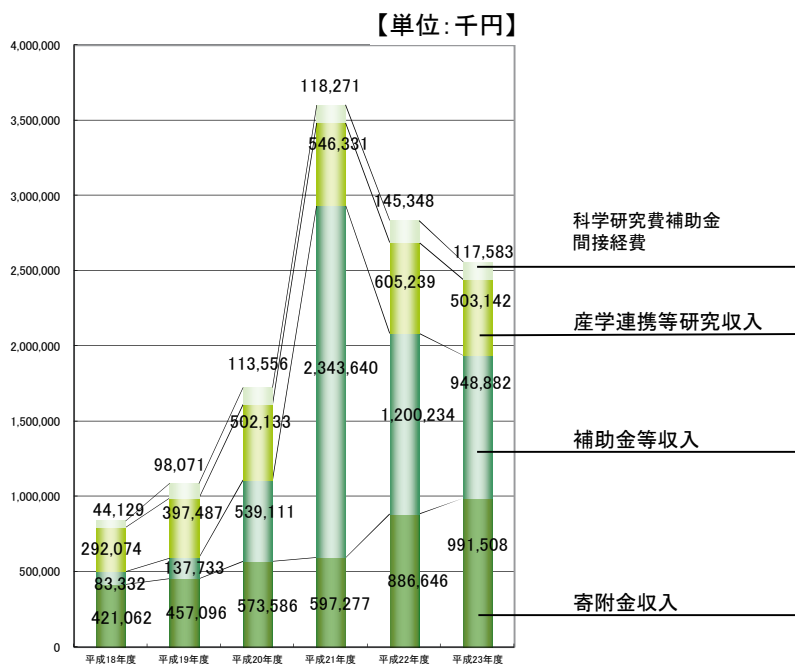
このような状況の中で教育、研究及び医療分野の充実を図るため、外部資金の獲得増をめざすとともに、経費の節減に努めています。

### 附属病院収入

病院再開発等の影響に伴い、病床数が減ったことなどにより、入院患者数が減少しておりますが、外来患者数の増加、手術件数の増加などにより、収入増となっています。

次年度以降も、再開発による工事等の影響を最小限に押さえ、増収に努めます。

### 外部資金等収入内訳



### 外部資金

平成23年度は、設備整備費補助金の減少による補助金の減少、また、産学連携等研究収入(受託研究等)も減少しましたが、寄附金収入については、増加しています。

引き続き、説明会等の開催及び研究内容や研究成果の公開とともに、地域との協働的研究・人材育成の中心的拠点を形成し、さらなる外部資金の獲得をめざします。

### 平成23年度 現物寄附の受入

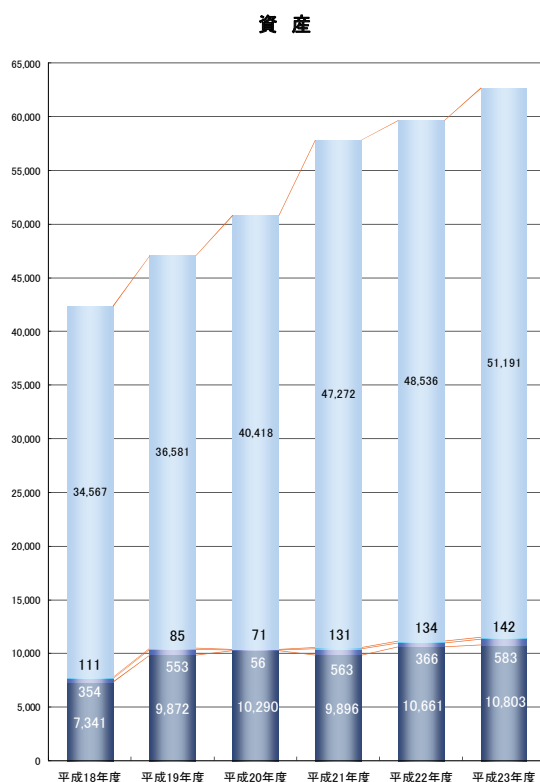
| 区分   | 価額        | 件数   |
|------|-----------|------|
| 固定資産 | 263,000千円 | 600件 |
| 少額資産 | 47,006千円  | 158件 |

## 貸借対照表の推移

### 資産

[単位: 百万円]

| 資産<br>(対前年度増減) |            |
|----------------|------------|
| ○ 有形固定資産       | 2,655百万円増加 |
| ○ 無形固定資産       | 7百万円増加     |
| ○ 投資その他の資産     | 217百万円増加   |
| ○ 流動資産         | 142百万円増加   |

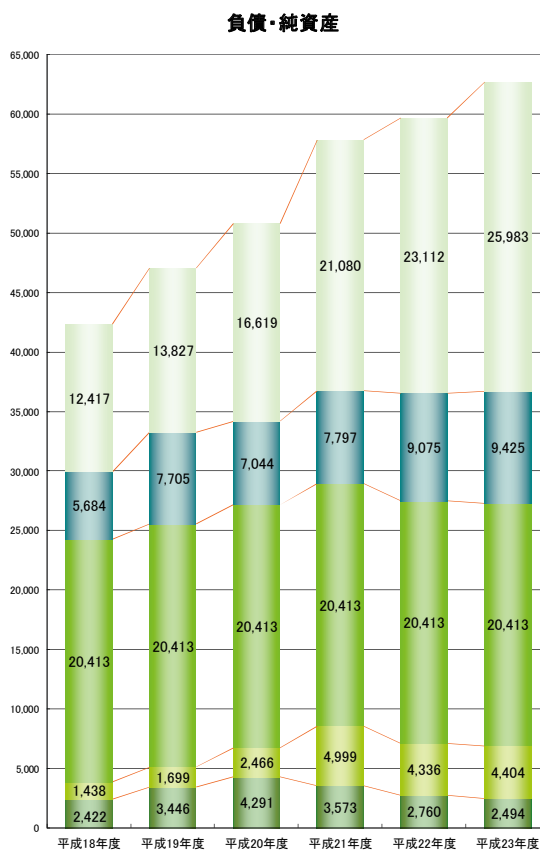


| 区分        | 勘定科目<br>(平成23年度構成比)   |
|-----------|---|
| ①有形固定資産   | 土物<br>建物<br>構築物<br>機械装置<br>工具器具備品<br>図書<br>建設仮勘定<br>その他<br>(81.6%)                |
| ②無形固定資産   | 特許権<br>特許仮勘定<br>電話加入権<br>ソフトウェア<br>その他<br>(0.2%)                                  |
| ③投資その他の資産 | 投資有価証券<br>長期貸付金<br>長期前払費用<br>その他<br>(1.0%)  |
| ④流動資産     | 現金及び預金<br>未収学生納付金収入<br>未収附属病院収入<br>その他未収入金<br>有価証券<br>医薬品及び診療材料<br>その他<br>(17.2%) |

### 負債・純資産

| 負債<br>(対前年度増減) |            |
|----------------|------------|
| ○ 固定負債         | 2,870百万円増加 |
| ○ 流動負債         | 349百万円増加   |

| 純資産<br>(対前年度増減) |          |
|-----------------|----------|
| ○ 資本金           | 0        |
| ○ 資本剰余金         | 68百万円増加  |
| ○ 利益剰余金         | 265百万円減少 |



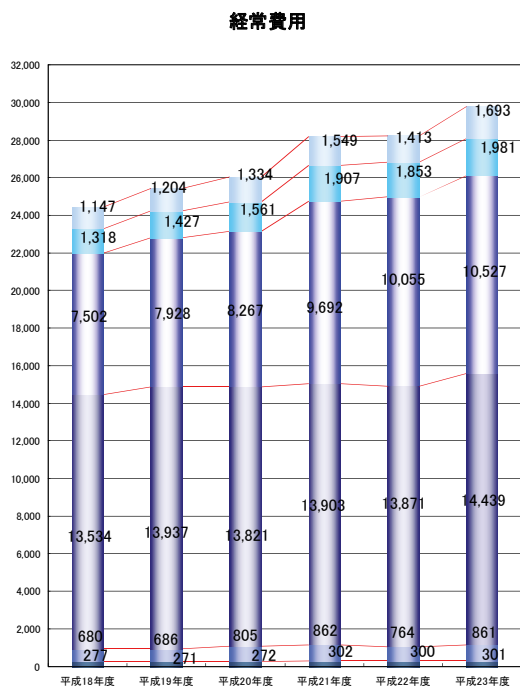
| 区分     | 勘定科目<br>(平成23年度構成比)   |
|--------|---|
| ⑤固定負債  | 資産見返負債<br>国立大学財務・経営センター<br>債務負担金<br>長期借入金<br>引当金<br>長期リース債務<br>その他固定負債<br>(41.4%)                       |
| ⑥流動負債  | 各種前受債務※<br>一年以内返済予定国立大学<br>財務・経営センター債務負担金<br>一年以内返済予定長期借入金<br>未払金<br>引当金<br>リース債務<br>その他流動負債<br>(15.0%) |
| ⑦資本金   | 政府出資金<br>(32.6%)  |
| ⑧資本剰余金 | 資本剰余金<br>損益外減価償却累計額(-)<br>損益外減損損失累計額(-)<br>損益外利息費用累計額(-)<br>(7.0%)                                      |
| ⑨利益剰余金 | 前中期目標期間繰越積立金<br>当期末処分利益<br>(又は当期末処理損失)<br>(4.0%)  |

※ 各種前受債務の内訳  
運営費交付金債務  
預り補助金等  
寄附金債務  
前受受託研究費等  
前受受託事業費等

# 損益計算書の推移

## 費用

| 費用<br>(対前年度増減)       |
|----------------------|
| ○ 教育関係経費<br>279百万円増加 |
| ○ 研究関係経費<br>128百万円増加 |
| ○ 診療経費<br>471百万円増加   |
| ○ 人件費<br>568百万円増加    |
| ○ 一般管理費<br>96百万円増加   |
| ○ その他<br>1百万円増加      |

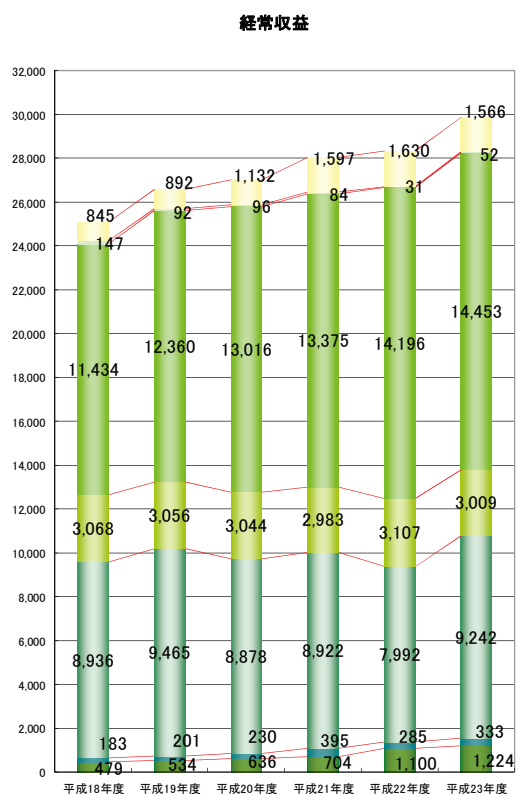


[単位:百万円]

| 区分    | 科目<br>(構成比) | 費用説明   |
|-------|-------------|--|
| 業務費   | ① 教育関係      | 教育に要する経費<br>(4.4%)<br>教育研究支援経費<br>(1.3%)       |
|       | ② 研究関係      | 研究に要する経費<br>(5.4%)<br>受託研究費等<br>(1.3%)         |
|       | ③ 診療        | 診療に要する経費(人件費は含まない)<br>(35.3%)                  |
|       | ④ 人件費       | 教職員の給与等に要する経費。ただし、受託研究費等に含まれるものは除く。<br>(48.4%) |
| 管理的経費 | ⑤ 一般管理      | 一般管理費<br>(2.9%)<br>管理運営に要する経費                  |
| その他   | ⑥ その他       | 財務費用等<br>(1.0%)<br>借入金償還元金利息、リース資産の支払利息等       |

## 収益

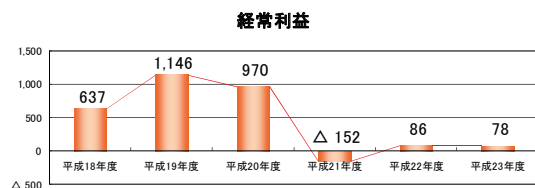
| 収益<br>(対前年度増減)         |
|------------------------|
| ○ 外部資金関係<br>64百万円減少    |
| ○ 施設費<br>20百万円増加       |
| ○ 附属病院<br>257百万円増加     |
| ○ 学生納付金<br>98百万円減少     |
| ○ 運営費交付金<br>1,250百万円増加 |
| ○ 雑益等<br>48百万円増加       |
| ○ その他<br>124百万円増加      |



| 区分      | 科目<br>(構成比) | 収益説明   |
|---------|-------------|--|
| 外部資金関係  | ① 外部資金      | 受託研究等収益<br>(1.6%)<br>寄附金収益<br>(2.3%)<br>補助金収益<br>(1.3%)  |
|         | ② 施設費       | 施設整備費のうち、固定資産購入以外の執行額<br>(0.2%)  |
|         | ③ 附属病院      | 附属病院において行われる診療に伴う収益<br>(48.4%)   |
| 学生納付金関係 | ④ 学生納付金     | 授業料収益<br>入学金収益<br>検定料収益<br>(10.1%)<br>授業料、入学金、検定料に係る収益。授業料収益については、授業料を財源とした固定資産購入額を除いて収益化                                    |
| 交付金関係   | ⑤ 運営費交付金    | 運営費交付金収入をそれぞれの事項別に会計基準に基づき収益化<br>(30.9%)<br>期間進行基準:時の経過に伴い、業務が実施されたのみならず収益化<br>業務達成基準:業務の達成度に応じて収益化<br>費用進行基準:執行額(費用)に基づき収益化 |
| その他     | ⑥ 雑益等       | 雑益等<br>(1.1%)<br>財産貸付料収入等の雑益、受取利息等の財務収益  |
|         | ⑦ その他       | その他の収益<br>(4.1%)<br>資産見返負債戻入<br>(減価償却費相当額を資産見返負債から振り替えるための収益勘定)  |

## 利益

| 利益<br>(対前年度増減) |
|----------------|
| 8百万円減少         |



|          |             |
|----------|-------------|
| 経常利益(損失) | 経常収益 - 経常費用 |
|----------|-------------|

## 財務指標分析

### 他の同規模大学との比較

[単位:千円]

| No | 区 分                          | 平成22年度     | 平成23年度     | 増 減              | 平成23年度<br>同規模大学平均 | 備 考                                   |
|----|------------------------------|------------|------------|------------------|-------------------|---------------------------------------|
| ①  | <b>流動比率</b>                  | 117.5%     | 114.6%     | △2.9%            | 115.8%            | 流動資産÷流動負債                             |
|    | 流動資産                         | 10,661,057 | 10,803,876 |                  |                   |                                       |
|    | 流動負債                         | 9,075,910  | 9,425,799  |                  |                   |                                       |
| ②  | <b>自己資本比率</b>                | 46.1%      | 43.5%      | △2.6%            | 57.4%             | 純資産÷(負債+純資産)                          |
|    | 純資産                          | 27,509,754 | 27,312,524 |                  |                   |                                       |
|    | 負債                           | 32,188,329 | 35,408,999 |                  |                   |                                       |
| ③  | <b>附属病院収入<br/>対長期借入金返済比率</b> | 5.4%       | 5.7%       | 0.3%             | 8.3%              | (長期借入金返済+<br>+財務経営センター納付金)<br>÷附属病院収入 |
|    | 長期借入金の返済による支出                | 758,280    | 807,964    |                  |                   |                                       |
|    | 附属病院収入                       | 14,084,575 | 14,168,414 |                  |                   |                                       |
| ④  | <b>人件費比率</b>                 | 51.0%      | 50.4%      | △0.6%            | 52.8%             | 人件費÷業務費                               |
|    | 人件費                          | 13,871,463 | 14,439,831 |                  |                   |                                       |
|    | 業務費                          | 27,193,807 | 28,642,238 |                  |                   |                                       |
| ⑤  | <b>一般管理費比率</b>               | 2.8%       | 3.0%       | 0.2%             | 2.8%              | 一般管理費÷業務費                             |
|    | 一般管理費                        | 764,245    | 861,128    |                  |                   |                                       |
|    | 業務費                          | 27,193,807 | 28,642,238 |                  |                   |                                       |
| ⑥  | <b>外部資金比率</b>                | 4.0%       | 4.0%       | 0.0%             | 5.0%              | (受託研究等収益+受託事業等収益<br>+寄附金収益)÷経常収益      |
|    | 受託研究等収益                      | 373,808    | 375,835    |                  |                   |                                       |
|    | 受託事業等収益                      | 150,594    | 111,291    |                  |                   |                                       |
|    | 寄附金収益                        | 610,333    | 701,486    |                  |                   |                                       |
|    | 経常収益                         | 28,344,902 | 29,883,590 |                  |                   |                                       |
| ⑦  | <b>業務費対研究経費比率</b>            | 5.1%       | 5.6%       | 0.5%             | 5.8%              | 研究経費÷業務費                              |
|    | 研究経費                         | 1,387,619  | 1,595,518  |                  |                   |                                       |
|    | 業務費                          | 27,193,807 | 28,642,238 |                  |                   |                                       |
| ⑧  | <b>業務費対教育経費比率</b>            | 3.9%       | 4.6%       | 0.7%             | 5.0%              | 教育経費÷業務費                              |
|    | 教育経費                         | 1,068,035  | 1,316,707  |                  |                   |                                       |
|    | 業務費                          | 27,193,807 | 28,642,238 |                  |                   |                                       |
| ⑨  | <b>学生当教育経費</b>               | 209千円      | 253千円      | (21.1%)<br>△44千円 | 224千円             | 教育経費÷学生数(修士・博士含む)                     |
|    | 教育経費                         | 1,068,035  | 1,316,707  |                  |                   |                                       |
|    | 学生数(人)                       | 5,109      | 5,187      |                  |                   |                                       |
| ⑩  | <b>教員当研究経費</b>               | 2,209千円    | 2,536千円    | (14.8%)<br>327千円 | 2,283千円           | 研究経費÷教員数(常勤)                          |
|    | 研究経費                         | 1,387,619  | 1,595,518  |                  |                   |                                       |
|    | 教員数(人)                       | 628        | 629        |                  |                   |                                       |
| ⑪  | <b>経常利益比率</b>                | 0.3%       | 0.3%       | 0.0%             | 2.3%              | 経常利益÷経常収益                             |
|    | 経常利益                         | 86,464     | 78,268     |                  |                   |                                       |
|    | 経常収益                         | 28,344,902 | 29,883,590 |                  |                   |                                       |
| ⑫  | <b>診療経費比率</b>                | 70.8%      | 72.8%      | 2.0%             | 65.0%             | 診療経費÷附属病院収益                           |
|    | 診療経費                         | 10,055,579 | 10,527,051 |                  |                   |                                       |
|    | 附属病院収益                       | 14,196,614 | 14,453,676 |                  |                   |                                       |

\* 同規模大学とは、国立大学法人中附属病院を有する中規模25大学。  
弘前、秋田、山形、群馬、富山、金沢、福井、山梨、信州、岐阜、三重、鳥取、島根、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、琉球の各国立大学法人。

## 財務指標増減の主な要因

### 安全性・健全性について(流動比率、自己資本比率、附属病院収入対長期借入金返済比率)

- ① 流動比率については、平成24年度以降分退職手当の運営費交付金債務の繰越や寄附金収入の増加による寄附金債務の増加により、比率は減少しています。
- ② 自己資本比率については、附属病院再開発事業に伴う新規借入等により、比率は減少しています。
- ③ 附属病院収入対長期借入金返済比率については、長期借入金返済の増加により、比率は増加しています。

### 効率性について(人件費比率、一般管理費比率)

- ④ 人件費比率については、人件費が増加しているものの診療経費などの業務費も増加しており、比率は減少しています。
- ⑤ 一般管理費比率については、東日本大震災対応関係経費や節電対策関係経費など一般管理費が増加したため、比率は増加しています。

### 発展性について(外部資金比率)

- ⑥ 外部資金比率については、寄附金の受入増等により外部資金の収益は増加していますが、経常収益全体も増加しており、比率は同率となっています。

### 活動性について(業務費対研究経費比率、業務費対教育経費比率、 教員当研究経費、学生当教育経費)

- ⑦ 業務費対研究経費比率については、業務達成基準適用事業や鉱業博物館模様替など研究経費が増加したため、比率は増加しています。
- ⑧ 業務費対教育経費比率については、授業料免除枠拡大等に伴う奨学金など教育経費が増加したため、比率は増加しています。
- ⑨ 学生当教育経費は、学生1人当りの教育経費の金額であり、教育経費の増加により増加しており、同規模大学の平均を上回っています。
- ⑩ 教員当研究経費は、教員1人当りの研究経費の金額であり、研究経費の増加により増加しており、同規模大学の平均を上回っています。

### 収益性について(経常利益比率、診療経費比率)

- ⑪ 経常利益比率については、経常収益(運営費交付金収益など)、経常費用(診療経費、人件費など)ともに増加しており、比率は同率となっています。
- ⑫ 診療経費比率については、診療経費(病棟改修に伴う移転費などの業務委託費等)の増加により、比率は増加しています。

### 秋田大学への寄附について

秋田大学は、「国際的な水準の教育・研究の遂行」・「地域の振興と地球規模の課題解決に寄与」・「国の内外で活躍する有為な人材の育成」の3つを基本理念としています。これを達成するためには、多くの学生・教職員が安心して教育研究に打ち込めるキャンパス環境を整えるとともに、様々な相互交流や学習体験の機会などを継続して提供し続けることが必要となります。

平成16年度の国立大学法人化以降の大学運営は、国から交付される運営費交付金が年々削減されるという厳しい状況となっており、このことから大学独自の教育研究の助成基盤を充実させる必要があります。そこで、本学の理念に賛同される皆様からの寄附をお願いいたしております。

寄附には、学術研究に要する経費や教育研究の奨励を主な目的とする一般の「奨学寄附金」と、学生に対する奨学金や国際交流事業、特色ある研究活動への支援、キャンパス環境整備などを行うことを目的とする「秋田大学教育研究支援基金」があります。

いずれの寄附金も多くの皆様のご協力により有効に活用させていただいております。つきましては、卒業生をはじめ、地域・企業の皆様方には、本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

詳しくは、下記URLをご覧ください。

 [http://www.akita-u.ac.jp/honbu/alumni/al\\_contribution.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/alumni/al_contribution.html)



## 秋田大学財務レポート 2012

[発行]

秋田大学財務課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL 018-889-2220 FAX 018-831-9072